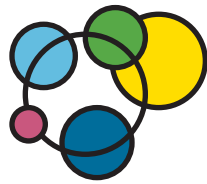


そわにえ Soigner



第3号 定価200円

『Soigner (ソワニエ)』とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2005年9月20日発行

発行 / 東京訪問看護ステーション協議会 (責任者 森山弘子)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17
社団法人東京都看護協会内
TEL : 03-5229-1534・1520 / FAX : 03-5229-1524

INDEX /

- | | |
|--------------|-----------------|
| 玉木先生より..... | My Trip & Boom! |
| 第1回研修会報告... | 委員会からの報告... |
| ステーション紹介... | 投稿募集、入会募集 |
| ブロック支援委員会... | 編集後記他..... |



『巾着田の彼岸花』庄司 元さん撮影

生きがい

東京都医師会理事 玉木一弘



先日、たまたま縁あってNHKホールでの「大橋節夫ファイナル・ビッグコンサート」に行きました。

大橋節夫?誰?。経験豊富な訪問看護師さんでも、知っている方は少ないでしょう。終戦後の昭和20~30年代、スティール・ギターを取り入れたジャパニーズ・ハワイアン・ポップのヒットを連発して、一世を風靡したスターです。代表曲には「倅はここに・赤いレイ・グッバイホノルル」等があります。と、私もこの程度の予備知識で、NHKホールを目指しました。開演30分ほど前だったのですが、入り口は長蛇の列で、近づくと都会的で、個性豊かで、自由で、自己表現にあふれた装いに身を固めた、後期高齢者の追っかけファン風の方々の列でした。私の診療所や介護施設は東京の西の外れに在って、普段は日本のどの地方でも見かける都会的ではない普通のおじいちゃん、おばあちゃん達と接していますので、びっくりしました。コンサートが始まり、この大橋節夫さんがどのような人物かが段々解かってきました。非国民と言われながらジャズや洋楽を謳歌した多感な慶応ボーイで、海軍予備学生として戦争の真っ只中で青春を過ご



玉木先生と広報委員(天木・廣瀬・山中)

し、戦後の進駐軍の時代に、堰を切ったように才能を爆発させた音楽家であり、当時の若者にとっての本物のスターだったのでした。加山雄三の大先輩かという感じです。80歳で、当時のままに同僚ミュージシャン達とステージに立ち、一人ひとりが紹介されましたが、今も現役として観客を魅了するためのそれぞれの健康法が紹介されました。集まったファンの方々を含め、介護保険的に言うと、自分自身の介護予防やリハビリテーションの明確な目的を設定して、人生を豊かに過ごすために、生活機能の維持向上に継続に取り組んでいる、こんなにも多くの高齢者を目撃し感動したのでした。大橋さんはそのホームページで、母校慶応義塾の塾祖、福沢諭吉先生の言葉である「独立自尊」の精神に触れ、自分の主張と信念によって人生を歩むことに悔いを残さずという生き方を披露しています。さて私達の現場でまず大切なことは、患者・利用者さんの生きがいを聞き、意欲を引き出し、その目標に寄り添い、それを実現する為に協働することにあると思います。そして結果として尊厳ある生と死を支える最前線に立ち続けられれば幸いです。訪問看護師さん達は疲れ切っているって聞いていますが、大橋さんの「ファイナル」という形容詞はジョークで、これからもしたたかにファイナル・ビッグコンサートを定期的に行くとのことです。皆さん、私達も頑張りましょう!

平成17年度東京訪問看護ステーション協議会主催 第1回研修会

「退院援助をめぐる課題と地域連携」



平成17年7月9日（土）信濃町の東医健保会館にて、第1回研修会が行われ、4人のパネリストの報告と会場での質疑応答が活発になされました。参加者は事前の申し込みが300名近くあり、当日は250名定員の会場を埋め尽くすほどの盛況でした。参加者の73%が病院に勤務する看護師たちで、看看連携の波及を感じました。今回、その様子をレポートしました。

森山会長挨拶

現在、病院でも在院日数が短縮する中、病状の不安定な医療依存度の高い方が早期に退院するようになりました。今や退院援助をおこなう病院の看護職やソーシャルワーカー、引き継ぐ地域の看護師がそれぞれにさまざまな課題を抱えています。従って医療機関と在宅との連携のあり方はこれまで以上に大きな課題になっています。病院でも在宅でも、新たな患者中心のケア体制を考え、良い社会レベルを維持するために何ができるか考えることが重要です。

1 病棟師長の立場から

日本赤十字医療センター 内科病棟看護師長
ソルステインソン みさえ氏

日赤医療センターでは、円滑な退院援助のために、病院内の総合医療相談室に提出する書類として、情報用紙、サマリー用紙、ADL評価表を独自に作成しています。その後病院で作成した情報用紙がどのように利用されているか訪問看護ステーションにアンケート用紙を送りました。その結果、不足しているものとして、情報収集用紙1枚目に関して、家族関係、在宅での介護力など。2枚目に関して、療養に対する希望、期待など。3枚目について、排便コントロールなど。退院時の最終的なADLの自立度。評価日は退院にできるだけ近くしてほしい。全体像がわかるように、など、病院と訪問看護ステーションとでは必要な情報に相違があったことがわかりました。

2 MSWの立場から

東京医療センター 医療福祉相談室 MSW
井田 茂樹氏

第一の問題として、病院で行われていることが在宅で適用するとは限らないということ。例としては、経管栄養や胃ろう管理などです。

第二に、在宅には在宅のやり方があります。病院と在宅でどうしてこのような違いが出てくるのか、それは管理指導力とか保険制度の違い、人的資源の違いなどです。病院

での生活を在宅での生活に移行するためのギャップを調整するため、退院カンファレンスを開催します。退院カンファレンスで何より大切なのは患者様・ご家族が立会って、関係者が顔を合わせて話すことだと思います。

3 看護相談室等相談担当看護師の立場から

東京女子医科大学病院 在宅医療支援・推進室
長井 浜江氏

私どもの病院では、皆さんが言われているような在宅医療支援をしています。地域との関係が以前は点と点の関係だったようですが、今は面と面の関係のようなあり方になっています。活動目標は、患者・家族が安全に安心して在宅療養ができるための支援活動をするということです。在宅療養条件の実態把握をするために、患者・家族と面接し、担当医、担当看護師より情報収集をしています。そして得られた情報をもとに、情報のアセスメントと調整をします。在宅移行に向けて問題点や患者・家族の意向をチーム間で共有します。訪問看護を利用するため、在宅医療支援・推進部の連携パターンを独自に作り実践しています。

4 訪問看護ステーションの立場から

桜台訪問看護ステーション 所長
馬籠さとみ氏

退院前訪問は入院中に病院を訪問しご利用者ご本人・ご家族・主治医・担当看護師・師長・ソーシャルワーカーなどと連携をとり、ご利用者に安心して在宅に戻っていただけるように調整をとることを指します。退院前訪問では保険適応になりますが、介護保険では保険適応外です。従って、ボランティアとして訪問することになります。しかし、退院前訪問をして得られる情報、そしてその調整は非常にその後の在宅生活にとって重要なものになるため、たとえ無償でも実行しております。退院前訪問のメリットは、利用者様に安心して自宅に帰ってもらえるために、さまざまな確認が出来、そして顔の見える連携が取れるということです。



コーディネーター

厚生労働省 医政局 看護課
在宅看護専門官

山田 雅子 氏



退院援助は、病棟のシフトでこなすものでなく、その枠を飛び越えているのが現状です。病院の看護師は、今回のこの話を持ち帰って一人で悩んでもどうにもならないので組織的にどうするのかということも多くの人々の知恵を集めて話し合っていたきたいと思います。

退院援助に関して、1人が動くと2人目、3人目が絶対に動いていきますので、今動いていないと思われる方は最初の1人になっていただきたいと思います。1つの仕事は10年かかるので長い目でがんばっていただきたいと思います。まずは目の前にいる患者様一人をうまく自宅に返す（追い出されたと感じることなく）、一例一例みんなで考えながら積み重ねていくと良くなってきますので、「継続は力なり」「まずは始めることが大事」だと思います。みんなでがんばっていきましょう。

質疑応答では、

- 1 個人情報に関して
 - 2 カンファレンスの進行役（コーディネーター）は、誰が進行役になるのか
 - 3 退院調整を開始する時期はいつが適当か
 - 4 在宅が始まってからどのようにケアがなされているか。
 - 5 クリティカルパスの使用について
- などの質疑応答がなされました。

4人のコーディネーターが一致していることは「顔を合わせた連携」であるということです。人間対人間が何より大切であり、人を動かす最も大きなエネルギーです。これから病院－在宅の連携が一層良くなるように努力していきましょう。

要約：広報協力委員 浅尾 文恵

※この研修の詳しいレポートをご希望の方は広報委員までお問い合わせ下さい。



第1回研修会参加人数

| | 申込数 | 実参加数 | | |
|------------|-----|------|------|------|
| | | 参加数 | 当日参加 | 参加者計 |
| 訪問看護ステーション | 59 | 57 | 3 | 60 |
| 病 院 | 231 | 171 | 2 | 173 |
| 都 福 祉 | 3 | 3 | | 3 |
| 計 | 293 | 231 | 5 | 236 |

出席率 80.55%

『退院援助をめぐる課題と地域連携』に関するアンケート結果

2005/7/9

1. 勤務場所(または職場)をお聞かせ下さい
 - ① 病院管理部門…………… 7
 - ② 病棟……………79
 - ③ 外来……………20
 - ④ 看護相談室……………15
 - ⑤ 医療相談室……………11
 - ⑥ 行政…………… 1
 - ⑦ 福祉施設…………… 1
 - ⑧ 訪問看護ステーション… 39
 - ⑨ その他…………… 15
2. 本日のパネルディスカッションのテーマはいかがでしたか？
 - ① 興味が持てた…………… 131
 - ② ふつう…………… 42
 - ③ 興味が持てなかった… 0
3. 今後の業務の参考になりましたか？
 - ① 参考になった…………… 168
 - ② 参考にならなかった… 6
4. 今後、研修にどのような内容を期待しますか？

事例検討 退院指導 システム作りについて
患者・家族の発表 連携パスの使用の実際
在宅ケア・STの活動の実際 医師の意見
同テーマで継続 精神疾患に退院援助
医療保険と介護保険の違い
5. ステーション勤務以外の方にお聞きします。訪問看護ステーションの1日体験研修を企画しております。この研修に参加したいと思われませんか？
 - ① 参加してみたい 46
 - ② 勤務の都合がつかずなら参加してみたい 42
 - ③ 希望しない 33

【1・2とお答えの方の勤務先市区町村】

板橋区・大田区 10名 北区 7名 新宿区・墨田区 6名
世田谷区 5名 渋谷区・府中市 4名 千代田区・文京区 3名
品川区 2名 江戸川区・中央区・中野区・目黒区・東村山市
・小平市・青梅市・八王子市・町田市・三鷹市 1名

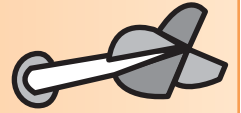
ご協力ありがとうございました。
皆様の意見を参考にさせていただき、今後の研修に活かしていきたいと思っております。

東京訪問看護ステーション協議会
研修委員一同

研修を終えて

7月9日に大勢の皆様のご参加をいただき、無事研修会を終えることができました。ひとつのテーマについて、他職種の方々との意見交換は非常に実りのあるものであったと感じております。アンケートでは訪問看護の実際をもっと知りたいとお声もいただいております。今後のステーション体験研修へと向かってゆければと考えております。体験研修では、各ステーションの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

研修委員長
府中医王訪問看護ステーション 曾木はま子



ステーション紹介

医療法人社団 野崎クリニック訪問看護ステーション



私たち野崎クリニック訪問看護ステーションは、起業10周年を迎えます。精神科訪問看護も行うステーションとして野崎クリニックのもと設立となりました。現在の患者さんは精神疾患、認知症、他の慢性疾患、難病及び終末期看護等々です。

「スタッフの熱意」

スタート当初のスタッフは4人、しかもそのうち精神科経験者が1人のみ、あとの3人は外科系出身のナースでした。記録ひとつにしても、スタート時は意見様々、何から何まで初めての私たちでした。しかも、精神科??という取りかかりでしたが、そこは度胸のすわっている外科系ナース、誰ひとりとして黙っている者はなく、毎回熱い答弁ありきでした。とにかく何でもやってみよう、行ってみなけりゃ始まらないという皆の気持ちが勢いをつけてくれました。そして、毎週火曜日には昼休みを利用して約1時間のカンファレンス・症例検討を行いました。スタッフの雑感、エピソード、愚痴、予想外の展開だったことの驚き、予想通りのまたそれ以上の展開だったことの拍手喝采等、「いろいろどんどん困りましょう、そして大きくなりましょう」を合い言葉に皆で大いに語り合う場になりました。また、勉強好きがいて、テーマ別に心電図、呼吸音、聴診の仕方、褥瘡、脳外あり、心臓内科ありと、皆前向きに、常にバージョンアップしたいという気持ちが、カンファレンスの充実につながっていきました。そして、5年・10年と経過し、現在はリハのPTも加わり、ナースも増えて、総勢20名・患者さん200名の大所帯となりました。

「精神科訪問看護の難しさ」

さてさて、精神科訪問看護とは?初物の取りかかりになった私たちに投げられた一石であり、お題でもありました。開腹、開頭の手術前、手術後、救急センターの患者は看れても精神科は実習で行ったのみで、在宅の精神科とは想像に及ばずでした。が、訪問してみなければ始まりも何もあったものではない。そうだ、まずは挨拶から健康の御用うかがいなんだ。と、言葉で言うところまでである。しかし、実際ドアを開けて「こんにちは、いかがですか?」。ここからナースたちのめまいと驚愕が始まる。何というお宅、汚宅?よくもまあ独自の世界で生きているもんだなあ。今までどうやって社会と関わってきたのだろうか。誰もこの濃い病態を薄めてくれる人はいなかったのだろうか。精神科疾患の患者さんの中には、普通に見える受け答えの中に、奇妙さとちぐはぐさが見えてくる。また、身内・家族の中でも比較的健全な精神の人は、結婚や転居という形で手を



看護師 中山千晶

引いてしまい、逃げ損ねた弱い人と本人とでますます病態が濃縮化された状況となり、事態の深刻さと病理の根深さがうかがえる。私たちの落ち込みは汚いだけではない。患者本人と家族が抱え込み蓋をし続けるか、開き直るしかないのか、どうしてもおかしいことが患者本人にとっては日常であり、生活となり、人生となってしまっているのである。しかし、八方ふさがりを一緒になって頭を抱えている訳にはいかない。

「心で見える」

そして、私たちは患者さんにとって何故かわからずとも、「存在」となって訪問を重ねていく。精神科訪問看護は、すぐには結果が出てくれない。出してくれない。投薬により変化するような期待をしていた自分たちに気づいた。患者さんが通っている作業所で作った作品をステーションに見せに来てくれたり、「心配かけてごめんなさい。お財布見つかりました」と電話をしてくれたり、少しずつお互いの心が響き合い、ドアから光が差し込み始めた時、私たちの迷いが消え、充実と手応えに変化していったのでした。

精神科訪問看護に関わり、はじめはとまどいと迷いだらけ。目で相手を見ていたのですが、患者さんに教えられ、励まされ、心で相手を見なければと思う10年目の今日であります。

今回ご協力いただいたステーション

医療法人社団 野崎クリニック訪問看護ステーション

〒166-0004 杉並区阿佐谷南3-37-13 大同ビル2階

TEL 03-3398-3330 FAX 03-3398-6036

e-mail:yu5ka@minuet.plala.or.jp

http://www.NOZAKI-CLINIC.com

今こそ地域での力強い連帯とネットワークを

ブロック支援委員会

〔17年度ブロック支援委員会活動方針〕

協議会ブロック支援委員会事業計画

- ①ブロック活動の支援
- ②ブロックにおける訪問看護の現状を把握し、問題解決のための支援の事業計画に基づき、第1回ブロック支援委員会では、
 1. 各ブロックの訪問看護ステーションの現状を把握する目的で交流をはかる
 2. 病院訪問看護師と積極的な交流をはかる
 3. 350カ所ステーションの協議会加入を目指す
 3つの今年度活動方針を決定しました。

〔訪問看護ステーション連絡会のブロック会とどこが違うの？〕

旧連絡会では、各ブロック運営委員がブロック会を運営してきました。協議会では、各ブロックから理事1名が選出されています。理事は他の委員会の仕事（研修・広報・推進）をしています。協議会組織となり理事は委員の専従の活動が期待され、ブロック代表は別に選出したほうがいいのではないかということになり、ブロック支援委員会は理事に推薦を願い、代表を選出してもらいました。ブロックを把握しているブロック理事の支援は不可欠です。代表は理事と協働し、ブロックを運営していただきたいと思います。ブロック活動においては、連絡会の時と基本的に変わりありません。

〔ブロック会の参加者が少なく、元気がない・・・〕

委員会で、最近のブロック会は、参加者が少なく、決まった人の参加、元気がない。という意見が多くのブロック会から聞かれました。介護保険制度になり、多忙になり、時間的余裕がなくなってきたこと、管理者会が開催され交流がはかれている、ステーションの数が多くなり、連帯感が希薄になってきていることなどが原因でしょうか。

会員の皆様はどのように感じていますか。一人の力は弱く、小さくても、ひとりひとりの叡智の結集と実践は強大なパワーとなり制度をも変えることができます。在宅では、福祉サービスが中心となり、医療行為もヘルパーさんらにとって代わろうとしている動きがあります。いまこそ訪問看護の連帯と地域のネットワークづくりが必要ではないでしょうか。ステーションの新たな展望に向かい、課題を出し合い、共有し、地域に貢献していくため各会員

のご理解とご協力を是非お願いします。

今年度の、各ブロック会の活動方針をご紹介します。

城北ブロックでは、①第5医療圏管理者会に参加し、看・看連携を図る ②在宅筋ジス患者会との交流。城南ブロックは、ケース検討会、情報交換を図る。北多摩は介護予防を視野にいれ、フットケアの学習会と情報交換を行う。西多摩、南多摩、城東北、城西南は地域連携を図ることの方針で17年度ブロック活動のスタートが切られました。

〔ブロック活動予算〕

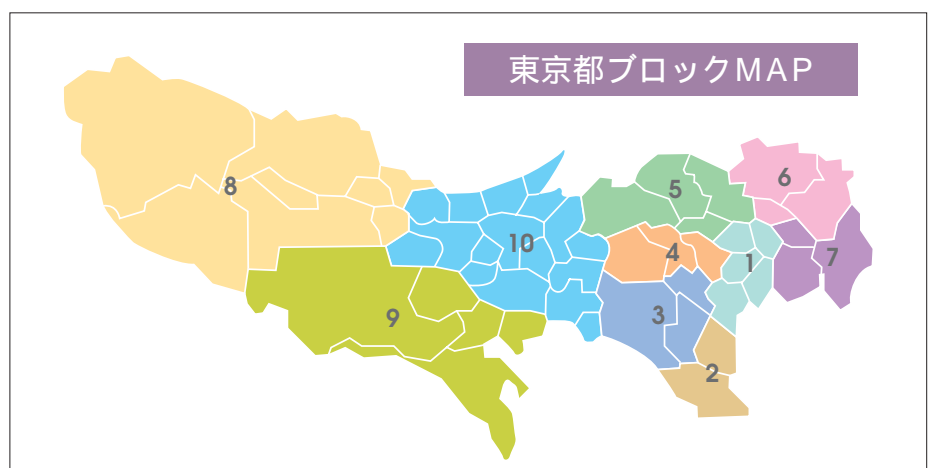
ブロック予算は、3万円です。ブロック活動費は、活動内容によって、3万円を超える計画がある場合も総務会で検討させていただきます。活発な活動を期待しています。

〔ブロック名が分かりにくいいため、数字の呼称もします。あなたのブロック名覚えて！〕

| | |
|-------------|--|
| 中央（1ブロック） | 千代田、中央、港、文京、台東 |
| 城南（2ブロック） | 品川、太田 |
| 城西南（3ブロック） | 目黒、世田谷、渋谷 |
| 城西（4ブロック） | 新宿、中野、杉並 |
| 城北（5ブロック） | 豊島、北、板橋、練馬 |
| 城東北（6ブロック） | 荒川、足立、葛飾 |
| 城東（7ブロック） | 墨田、江東、江戸川 |
| 西多摩（8ブロック） | 青梅、福生、羽村、あきる野、瑞穂、日の出、桧原、奥多摩 |
| 南多摩（9ブロック） | 八王子、町田、日野、多摩、稲城 |
| 北多摩（10ブロック） | 立川、昭島、国分寺、国立、東大和、武蔵村山、武蔵野、三鷹、府中、調布、小金井、狛江、小平、東村山、西東京、清瀬、東久留米 |

ブロック支援委員長

佐々木 静枝（訪問看護ステーションけやき）



わたしのたび：北海道に行っちゃいました！！

行ってきました！！

永遠に続くかと思われた長くまっすぐに伸びる道。視界を遮ることのない広大な大地…食べ物美味しい！野菜がホント美味しかったです。特にアスパラやとうきび、おじゃが。海産物なら牡蠣です！夏の北海道はいいことづくし…でもやっぱり外せないのは富良野の花畑、美瑛の丘ではないでしょうか？私のオススメは朝、日の出前に動き出す。観光バスも地元人もいない、林の中のエゾシカとキャンパー達がモゾモゾと動き出す…この時間はかなりねらい目かと。この季節は車や人で大賑わい。混雑を避けるのに朝は実にいいですよ。

日の出も見られて超オトク♪

今回の旅で私はソフトクリームを食べました。とにかくよく食べました。我ながら驚くほどである。1週間で10個は食したと思われそうですが…食べ過ぎ？

そんな中でいくつかご紹介させていただきます。

*牛乳ソフトは、どこで頂いても美味しかったです。数ある中で有珠山ロープウェイ麓のコーヒーゼリーソフトはかなりいけます。オススメ度 ★★★★★

*富良野で頂いたラベンダーソフト。色がとってもキレイ。こちらは牛乳ソフトの中にラベンダーの香りがしました。

ちょっと香料くさいけど、味は、ますますです。★★★☆☆
*夕張で頂いた夕張ソフト。こちら結構夕張メロン臭しました。味もメロン牛乳って感じでなかなかです。★★★☆☆
当麻町で頂いたスイカソフト。産地だからやっちゃいましたあ？正直な感想これって果汁入ってる？って感じです。でんすけスイカは本当に美味しいけど、ソフトは？？？あくまで私個人の感想ですので…話の種にいかがですか？★☆☆☆☆

「道の駅音更」で頂きたいちごソフト。今回はこれが一押しです。甘いだけでなく、程よく酸味があって、果汁たっぷりです。さっぱりしてます。いけます！★★★★☆
しつこいですが、あくまで個人的な感想ですのでご参考まで。写真が無くて伝わりにくいですが、もし北海道に行った際にはご賞味下さいませ。

墨田中央病院訪問看護ステーション PC担当 山本



My Boom!

わたしのはまっているもの：空を飛ぶこと！

空を飛ぶことは、多くの人が子供の頃から夢に見たことだと思えます。私も子供の頃からあこがれていました。私が、自家用操縦士免許（飛行機の免許）を取得したのは、社会人になって4年目の春でした。勤めていた病院を辞め、夢を実現すべく渡米したのです。慣れない英語と格闘しながら2ヶ月間、フライトスクールに通い、連邦航空局の試験を受け、晴れてパイロットとして卒業することが出来ました。

日本では、なかなか趣味でフライトする機会が少なく、仕事の忙しさもあり、免許はあるものの操縦桿を握ることはありませんでした。しかし、数年前から住まいが飛行場の近くになったので、空を飛ぶ機会が増えてきました。

朝、まず空を見ます。飛びたい！と思ったら空港に車を



走らせます。気象情報をチェック、機体をチェック、フライトプランを作成した後、飛行機に乗り込みます。フライト前は多少の緊張感がありますが、一度コックピットに入り、サングラス・ヘッドセット・安全ベルトを装着すると気分が落ち着き、チェックリストに従って準備を進めます。エンジンスタート、ランナップ、全て問題なしを確認し、管制塔に地上滑走の許可を取ります。そして、離陸準備完了後、離陸許可をもらい、滑走路に進入します。目の前にはまっすぐにのびる滑走路が私を待っており、大空へ飛び立つ手助けをしてくれます。

私の至福の時、それは青空と白い雲の間から見える雄大な景色と1つになること。いつまでも飛行少年のつもりでいたいです。

匿名希望：Flying PT

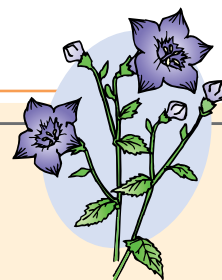


各委員会からの報告

広報委員会より

東京訪問看護ステーション協議会のパンフレットの作成に取りかかりつつ、「そわにえ冬号」の企画中です。ホームページの見直しも準備に入るところです。

ITに詳しい方、文章を書いたりイラストが描ける方、少しでもご協力いただける方、いらっしゃいましたら、お手伝いをお願いします。



訪問看護推進委員会より

厚生労働省の「医療型多機能サービスの展開に向けた訪問看護の充実の検討」(モデル事業)を、東京都の人材課、教育庁と何度か、推進委員で作成した検討案について、話し合いを行っていましたが、今の都政の状況から残念ながら今回は見送られました。時期相応になったらこの作成した案「在宅における小児療養児、若年者の長時間滞在看護の提供」を、実現出来るような取り組みをしていきたいと思っています。

現在、実践中の日本看護協会の「ALS患者の在宅支援強化のための24時間看護提供モデル事業」に取り組んでいる調布市医師会立STと、訪問看護STけせらの支援中で、そろそろ中間報告の時期になりました。

在宅ホスピスケア実現のための教育、地域作りを考え、来年事業化できるようなプログラム作成に取りかかります。

在宅での介護者による医行為について、厚生労働省が示してきましたが、それについての包括的な責任者となる医師の見解や、私たち看護師の役割、一致した認識が持てるような、研修会を12月ごろ開催する予定です。日程が決まり次第、お知らせします。

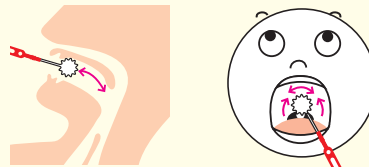
お口のケアがラクラクできる便利なブラシ



お口の中に溜まった液やタン、食べ物のカスを
じょうずに取り除くことができる看護・介護用ブラシです。

上あごやお口の奥のタンやだ液をとります。

上あごの奥にブラシの毛先を軽く触れ、タンやだ液を、
毛先に巻きつけるようからめとります。



イラスト：村田歯科医院 大西志津子

医院価格：380円(税抜) 患者価格：470円(税抜)

商品に対するお問い合わせ・ご注文は…

FAX 0120-591-379
Free Dial

TEL 0120-591-378
Free Dial

Oral Care
メディカル事業部

訪問看護ステーション支援システム e-Nurse の特長

1 医療保険と介護保険の両方の請求業務をサポートします。

医療保険、介護保険の請求書、明細書を作成。
もちろん介護保険伝送データにも対応します。

2 衛生材料の実費配布や交通費の個人請求管理ができます。

オムツやガーゼ等の衛生材料や交通費など各種利用者請求情報の管理が可能です。

3 ネットワークでもご利用いただけます。

ネットワークでご利用されますと、パソコン入力の空きを待つといった時間は軽減されます。

4 各種統計表を作成します。

訪問看護回数、内容、年齢、病名、装着医療機器別等の統計データを自動作成します。

5 一覧表や宛名ラベルを作成します。

訪問日時データ、勤務実績データの一覧表や宛名ラベルを作成できます。



お問合せは、

Ⓜ 島津エス・ディー株式会社 東京営業所
〒101-0054 千代田区神田錦町1-3 島津東京ビル
TEL 03-3219-5522 本社(京都) 075-841-9195

投稿募集

東京訪問看護ステーション協議会の会報は、会員参加型を目指してします。難しい事を書いて送って下さい、と言っているわけではありません。ステーションや在宅看護とは関係のない笑い話や自慢話、面白かった本や映画、美味しいお店などの話、何でも結構です。また、他のステーションではこんな時はどうしてるの?などの質問でも良いです。また、編集、取材、デザイン、ホームページ作りにちょっと興味のある方や特技のある方のご協力も大歓迎ですので、気軽にメールしてください。

投稿は、①手書きの原稿をFAXまたは郵便でお送りいただくか、②Wordなどで入力したデータをE-mailに添付してお送り下さい。お写真も掲載可能です。紙焼き、ポジ・ネガ・デジタルデータ、何でもOKです。但し、Word等に写真を貼られた場合は、「元画像」も一緒にご用意いただくと幸いです。また、貴重な資料や写真の返却を希望される方はその旨必ず明記して下さい。皆様からのご投稿を心よりお待ちしております。

訪問看護協議会 入会募集

東京訪問看護ステーション協議会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援していきます。ご入会を心よりお待ちしております。

8月末現在の会員数

継続会員 250名 新規会員 70名 合計 320名

「広げよう仲間の輪を！手をつなごう未来のために」

ワンポイントフランス語

- ☆ Bonjour, Ça Va? (ボンジュール サ バ) こんにちは。元気？
- ☆ Ça va bien, Merci (サ バ ビアン メルシー) 元気です。ありがとう。

編集後記

「そわにえ夏号」が発行され、広報委員一同ホッとする間もなく次号に取り掛かり、「そわにえ秋号」発行に漕ぎつけました。前号の発行でそわにえの基本構成が出来上がっていたので、今回は主に記事内容を吟味したり、広告主を見つけたりして、好評だった夏号に引けを取らない秋号が出来上がったように思います。今回は広報委員が東京都医師会理事にお会いしてきました。お忙しい中私達に時間を割いて頂き、似顔絵通りのステキなスマイルで迎えて下さいました。今後も訪問看護ステーションとの協力は、厭わないという暖かい言葉を頂きました。今後とも宜しくお願い致します。今後の広報委員会の活動としては、季刊そわにえ発行と平行してパンフレット作成を目指していきます。ホームページはまだまだ時間が掛かりそうですが、検討していきたいと思っています。そわにえの輪が広がりますように…

(墨田中央病院訪問看護ステーション 廣瀬 祐子)

投稿、広告につきましては、fresca@r3.dion.ne.jp ステーションみけ 椎名までお問い合わせ下さい。

胃ろうと栄養の「PDNセミナー」を計画しませんか。



■胃ろうの正しい適応、安全な造設・交換、責任あるケアなどを学ぶセミナーです。

■講師の紹介、各種教材の頒布など、お気軽にご相談ください。

03-5733-4361

ホームページでさらに楽しめます。

<http://www.peg.ne.jp>



NPO法人PEGドクターズネットワーク
〒105-0004 東京都港区新橋4-29-6 寺田ビル403
TEL 03-5733-4361 FAX 03-5776-6486

患者様のQuality Of Lifeの向上が テイジンの理念です。

患者様のいきいきとした療養生活を
使いやすさを追求したさまざまな機器類と、
徹底した管理体制でサポートしています。



TEIJIN

- 酸素濃縮式供給装置
ハイサンゾ® シリーズ
マイルドサンゾ® TO-40S
- 携帯用軽量酸素供給システム
ウルトレッサ®
+ サンソセーバー® II
- 酸素飽和度モニタ
PULSOX® シリーズ

帝人在宅医療東京株式会社

東京第1営業所 TEL. 03-3506-4867
東京第2営業所 TEL. 03-3506-4865
東京第3営業所 TEL. 03-3506-4866

多摩営業所 TEL. 042-538-2515
城北呼吸ケア支援ステーション TEL. 03-5964-6070